

第1回多治見市地域包括支援センター運営協議会議事録

日 時：平成30年7月31日（火）

13:30～15:00

場 所：精華地域包括支援センター 2階

出席： 荒木登志枝委員、加藤佳子委員、鬼頭弘一委員、木村ゆき子委員、
後藤達彦委員、長江一鶴代委員、三原理智委員、山崎智子委員、山田隆司委員、
山中利仁委員（アウトライン）

事務局

福祉部：富田部長

高齢福祉課：杉村課長、加藤リーダー、金子リーダー、加藤ゆ、早瀬

社会福祉協議会 地域福祉課：澁谷課長

精華地域包括支援センター：森

北栄地域包括支援センター：棚瀬

事務局

本日は、大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。定刻となりましたので、ただ今から平成30年度第1回多治見市地域包括支援センター運営協議会を開催します。

私は、会長が互選されるまで司会進行をいたします高齢福祉課長の杉村でございます。よろしくお願いいたします。

会議にあたりまして、福祉部長より挨拶を申し上げます。

部長

本市の日常生活圏域は6地域に区分し、それぞれの圏域に包括支援センターを設置し、数年かかりましたが、平成30年1月に北栄地域包括支援センターを開設し、ようやく体制が整ったところです。今年度から第7期の保健福祉計画が始まり、地域包括ケアシステムの強化をあげており、地域の拠点として地域包括支援センターの役割はますます重要になってくるところです。高齢者の生活支援、介護予防サービス充実のための生活支援コーディネーターを中心とした第1層協議体が動き始めたところですが、今後圏域ごとの第2層協議体の設置にむけての包括支援センターへの期待は大きいです。本日は地域包括支援センターの運営に関するご意見をいただきたいと思っております。また、この場を借りて東美濃ナンバーのPRもさせていただきました。よろしくお願いいたします。

事務局

議題に入る前に資料の確認をさせていただきます。資料A、B、1～6まで事前に配布させていただきました。本日、レジメと追加資料として、議題4に関する資料7を配布させていただきました。

続いて、委員の委嘱ですが、委嘱状につきましては、本来なら委員の皆様おひとりずつにお渡しするところですが、時間の都合上、各委員の皆様のお席に配布させていただきましたのでご確認をお願いします。

では、本日は委員委嘱後の初めての会議になりますので、委員の皆様から簡単に自己紹介をお願いします。

委員

—自己紹介—

事務局

最後に事務局側の自己紹介をさせていただきます。

—事務局自己紹介—

続きまして、本日は委員委嘱後最初の会議でございますので、多治見市地域包括支援センター運営協議会設置要綱第5条により、会長、副会長の選出をお願いしたいと思います。委員のうちから互選するとなっておりますが、どなたか推薦等ございますか。

委員
事務局

—推薦なし—

事務局一任ということでよろしければ、事務局に案がありますので、発表させていただきます。

それでは、会長に「山田委員」、副会長に「木村委員」をお願いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

委員
事務局

—異議なし—

それでは、ここからの進行は会長をお願いします。

なお、本日の会議の議事録につきましては、事務局で取りまとめの上、委員の皆様にご確認いただいてから委員名は公表せずホームページ上で公開させていただきます。よろしくをお願いします。

会長

あいさつ

これより議題に入ります。議題1. 平成29年度事業報告について、事務局より説明をお願いします。

事務局

—資料に基づき説明—

資料1 平成29年度多治見市地域包括支援センター事業報告

資料2 平成29年度多治見市高齢者支援センター事業報告

会長

事務局の説明について、ご質問やご意見はございませんか。

委員
事務局

認知症地域支援推進員は包括の職員ですか。包括の仕事を兼ねていますか。太平地域包括支援センターは校区としても3校区を受け持っています。認知症地域支援推進員を配置するという事で他の包括に比べ1人多く配置しています。推進員は兼務です。

委員

地域包括支援センター職員が推進員に相談するのはおかしな話ではないですか。

事務局

他の包括からも認知症のことで推進員は相談を受けたり、報告を受けたりしています。

委員
事務局

定数は決まっていますか。どんどん増やしていくのですか。

現在は1人ですが、平成30年度から認知症初期集中支援チームなど新たな取り組みが始まっています。認知症の事業も増えてきていますし、どの部分で推進員に関わってもらうのか検討しながら、業務に合わせて順次増員をしていく必要があるということで総合計画にもあげてあります。

委員
事務局

推進員に特化した仕事はあるのですか。

各包括でも認知症については対応していますが、いろいろ複雑な問題が絡み合ったケースもありますし件数も増えてきています。包括が直接対応したほうがいい場合、認知症初期集中支援チームに対応をお願いする場合、若年性認知症の問題など推進員が整理する役割をもっています。

委員
事務局

推進員は専門の研修を受けた人でないとなれないですか。

そうです。

会長

その他意見等ございませんか。

—他に意見なし—

会長

それでは、次の議題に入ります。

議題2. 平成29年度地域包括支援センターの評価について、事務局から説明をお願いします。

事務局

今年度も、まず、各地域包括支援センターが自己評価し、その後外部評価ということで、運営協議会の委員さんと事務局とで各包括を訪問しヒアリングを行いました。

—資料3に基づき説明—

太平包括は、昭和地区を中心に老人会や地域の集いの場を回り情報収集し、高齢者の集いの場が少ないことを把握して3か所でさんさんクラブを立ち上げ介護予防教室を開催しました。その他、駅前周辺でも介護予防教室を定期的に開催しサロン化に向けて動いています。ボランティア講座も開催し1名が実際にボランティアとして活動していただけることになりました。さんさんクラブについては今後も自主開催サロン化に向けて支援を継続していきます。また、太平包括は福祉センター内にあるため、いろいろな地域の方からの相談があるため、他の機関へつなげています。認知症地域支援推進員がいることもあり、認知症サポーター養成講座をはじめ、認知症関係の事業を多く実施しています。今後、診療所、薬局、コンビニ、スーパー等へ包括のPRに力を入れていきたい。40-50歳代に向けてのアプローチも考えていきたいと課題をあげています。

会長
委員
会長
事務局

外部評価を行った委員をお願いします。

—資料3 太平包括外部評価に基づき説明—

続いて、南姫地域包括支援センターについてお願いします。

南姫包括は人材育成事業のラジオ体操からサロンの立ち上げにつながっています。ボランティア活動ができる方もみつかっています。北栄包括開設前は4校区を受け持ち高齢者数が多いため相談件数も多く、困難事例もたくさんありましたが他機関と連携をとり対応しています。また、北栄包括開設にあたりケースや事業の引継ぎが円滑に行われました。今後の課題として、インフォーマルサービスを更に把握しマップなどで情報を整理していきたい。また、介護者への支援にも力を入れていきたいとあげています。

会長
委員
会長
事務局

外部評価を行った委員をお願いします。

—資料3 南姫包括外部評価に基づき説明—

続いて、滝呂地域包括支援センターについてお願いします。

滝呂包括は地域福祉協議会や町内会、多悠連、商店、診療所、薬局など出向いて包括の周知を行いました。また、地域の区長、住民、商店などから聞き取りながら資源マップづくりに力を入れています。今後はこれを地域に発信し地域ネットワークづくりを図っていきたいです。

会長

私が外部評価を行いました。

—資料3 滝呂包括外部評価に基づき説明—

次に、笠原地域包括支援センターについてお願いします。

事務局

区単位の小地域での活動に重点をおいています。地域で認知症サポーター養成講座を2回実施しサポーターを100人程養成しました。その後、ステップアップ研修を開催し地域での見守りについてみなさんで考えました。第2層協議体の活動では、住民にアンケートを実施し地域の実情を把握しまとめて住民に報告しました。市之倉地域でも第2層協議体の活動につながる会議に参加しています。一目でわかる資源マップづくりに力を入れています。今後

会長
委員
会長
事務局

は、サポーターが集いの場などの担い手となるように取り組んでいきたい。
また、新たな集いの場づくりにも着手していくとのことです。

外部評価を行った委員お願いします。

—資料3 笠原包括外部評価に基づき説明—

次に、精華地域包括支援センターについてお願いします。

2年目の包括です。介護予防教室を包括のスペースで多く開催し、またサロンなどから市民の声を聞きだし地域の情報収集をしています。民生委員の事例検討会にも参加し連携もできています。今後、ゴミ屋敷、セルフネグレクトなどいろいろな問題に対応できるよう多職種と連携を密にしていきたいです。また、住民向けの学習会は頻回にしているので、そこから、地域課題を洗い出し解決のための方法を一緒に考えたり、解決できる力をつけていけるよう支援していきたいとのことです。

会長
委員
会長
事務局

外部評価を行った委員お願いします。

—資料3 精華包括外部評価に基づき説明—

最後に、北栄地域包括支援センターについてお願いします。

平成30年1月開設の包括です。3か月間の評価になりますので他の包括に比べると△が多くなっていますが、包括の周知に力を入れました。北栄高齢者支援センターがあったこともあり、北栄地域には知ってみえる方も多いですが、小泉地域にも浸透していくように今後も活動していきます。現在、老人会、サロン等での情報収集を積極的に行っていますが、今後さらにインフォーマルサービスの把握にも努めたいですとのことです。介護予防教室は月に3回開催しています。

会長
委員
会長
委員
委員

外部評価を行った委員お願いします。

—資料3 北栄包括外部評価に基づき説明—

事務局の説明について、ご質問やご意見はございませんか。

包括の監督するところはありませんか。保健所は立ち入り検査など評価するところではないですか。評価についてはどれくらい関与できるものですか。

保健所はそのような機関ではないです。保健所は市が進めている包括ケアシステムを支援するという役割はありますが、包括の監督をするところではないです。

会長
事務局

包括の運営の管轄は市ですね。

保健所と市と連携をとって行っています。厚労省からは保険者機能強化ということで市はPDCAをもってきちんと包括を評価することが求められています。

委員

評価する人の立ち位置があるため評価が統一にならない。統一の基準があるといいと思いますが…。

会長

チェック基準として◎○△をつけますが、あとは個々のコメントを見ていただくとうい。

委員

保健福祉計画策定のためのニーズ調査をされ、その中で包括ごとに分析されていきました。笠原は閉じこもり、低栄養、認知機能低下の方の割合が多いとか、精華ではうつ傾向の方が多いなど出ています。校区の特徴にあった活動はされていますか。介護予防教室などに反映してみえますか。

事務局

介護予防教室についてはサロンの方の要望などを取り入れて開催しています。その中で、この地域にはこのような問題がある（例えば消費者被害でこ

んな例があった) ことを知らせています。また、地域の相談や活動をとおして感じたことを話しています。同じ介護予防教室でも校区によって肉付けを替えるなど工夫はしています。

委員 精華包括は医療法人なので健康の相談が多かったり、地域ケア会議に医師が参加されているなど特徴があります。それぞれ特徴を活かした活動をしていくことは大切だと思います。

会長 自己評価において、課題とされたことを解決できるよう期待します。みなさんで応援しましょう。

事務局 それでは、次の議題に入ります。議題3. 平成29年度収支決算について、事務局から説明をお願いします。

事務局 —資料4に基づき説明—

会長 太平包括は職員4とプランナー1人で他の包括より人件費が多くなっています。(プランナーは滝呂に1人、南姫には2人、笠原は0人です。)平成30年度は各包括にプランナーを1人配置しています。

事務局の説明について、ご質問やご意見はございませんか。

事務局 事務費の中では手数料が多いのですがどのようなものか。

会長 プランの再委託料となっています。

事務局 精華、北栄は人件費の中の退職給付費用がありませんが、退職金は出ますか。

会長 退職給付費は法人の方で入っています。

事務局 南姫の事業活動収入(総合事業)が多いのはなぜですか。

事務局 南姫包括は平成29年12月まで4校区を受け持っていましたので、高齢者数が多く、そのため要支援・事業対象者も多いからです。

会長 その他、質問はありませんか。

事務局 それでは、次の議題に入ります。議題4. 認知症初期集中支援チームの活動状況について事務局から説明をお願いします。

事務局 —資料7に基づき説明—

会長 事務局の説明について、ご質問やご意見はございませんか。

委員 認知症が疑われるご夫婦ですが、年齢が65歳以上の方ですと民生委員が関わることが多く民生委員から情報が得られると思います。

委員 周りから要請があると訪問に出かけられるようですが、本人の同意など段取りはどのような感じでしょうか。

事務局 最初の窓口は包括です。包括が少し話を伺う中でチームの存在を知らせ、同意が得られるとチームで訪問する流れです。本人の同意というよりも家族の同意が得られれば訪問します。

委員 スムーズにいらっていますか。

事務局 家族の同意がとれないということで止まっているケースもあります。そのケースは包括がキーパーソンを探したり、継続して支援しています。民生委員さんや近所の方からの情報で認知症の疑いがある方でも、家族の理解がないとなかなか入れない現状です。

会長 他いかがでしょうか。それでは、次の議題に入ります。議題5. その他について、事務局から説明をお願いします。

事務局 —資料5に基づき説明—

会長 事務局の説明について、ご質問やご意見はございませんか。

これをもちまして、第1回地域包括支援センター運営協議会を終了します。

